

消防団の総合的支援を

町 現状での対応をしたい

問 団員確保の難しい中で、勤務内の出勤や欠勤扱いにしない配慮など団員が不安なく参加できるように、企業の理解と対策が必要ではないか。

町長 今後協力企業に対して規模にあった対応をした

問 勤務時間の出動や、従業員の入団促進など、社会貢献につながる消防団協力事業者表示制度を行う考えはあるか。

総務課長 企業の逆差別化が生じないように検討する。

問 今後の車両削減とそれに伴う人員削減はどのように考えていくか。

町長 消防力の機能を低下させないように検討したい。

問 県下最低の団員報酬の値上げを考えるべきでは。

総務課長 適正配置での引き上げは考えていない。

問 福利厚生で災害時の現場対応として破傷風ワクチンの接種は。

総務課長 現段階では行う考えはない。

問 地域による「消防団支援の店」推進状況はどうか。

総務課長 現在でも実現に至っていない。

問 自治会や消防後援会の支援はどのようにしているか。

総務課長 消防後援会は町では現状把握していない。

問 消防署OBや女性消防団員の採用を推進すべきでは。

総務課長 災害時に何らかの形で活用できれば考えた

問 新入団員確保のため消防団経験者に加え推進委員を委嘱する制度を考えた

総務課長 改めて委嘱する

考えはない。

問 災害時に支援するため

建設課長 事故等の心配から災害協定を結んでいる建設業者に対応をお願いしたい。

問 自主防災組織の立上げに町の考えは。

総務課長 リーダー育成の研修の参加を促し共助による防災体制の組織化を図る。

問 消防団の啓蒙活動として、操法大会や通常点検において地域住民や団員の家族が集まり消防への理解を深める催しを行えないか。

総務課長 消防フェスタでの開催は考えていない。



水防訓練をする消防団員



消防操法競技会の様子